

和波久司 わかひぢ 詩人。明治八年五月二十日（二重縣員辨郡笠田村生れ、二十八年二月八日歿（一八七五—一九〇五）。號五尺男、幻影童子、彬々、恒堂、是空庵、斯花庵、那喜之舎等。國民英學會を經ぐ、明治二十九年東京專門學校文學科卒。同窓に宮田脩、安藤紫陽、杉谷代水、佐藤迷羊等がゐた。まづ在學中、坪内逍遙の『小學讀本』編輯を助勢。卒業後歸郷して家業に就き、同志と農桑の改善を謀るなどハム共の事に盡力と早迹。かね 豫て父辭を好み詩歌俳句を能くした。

卒業論文「築林子の世話物に就て」を始り、新體詩十數篇等の他、前記同窓による追悼集を附載した『斯花庵遺稿』（明治四十一年十月十日）二重・川瀬義雄編刊）がある。

